



東京拘置所矯正展において自衛隊を広報

東京地本新小岩募集案内所（所長 山本2等陸尉）は9月29日、葛飾区で実施された東京拘置所矯正展において、第1普通科連隊第3中隊の支援を受けて広報ブースを開設し、自衛隊の広報活動を実施した。

当該イベントでは、吹奏楽演奏や刑務所作業製品の展示販売等、様々な催しが実施され、近隣の住民などで毎年約1万5千人の来場者が訪れているが、今年度はゲストとして人気グループDAPUMPが登場し、現在ヒット中の「USA」が披露され、多数の若者や家族連れなどで大盛況となった。

今話題の「LIFE HACK(ライフハック)」のDVD放映、迷彩服等の試着コーナー及び装備品前での記念撮影コーナーを設けた広報ブースでは、お昼前から雨が降り出すあいにくの天候にもかかわらず、各コーナーともスマホやデジカメを持って記念撮影をする人達で行列が絶えず、展示している防弾チョッキを身に付けてその重さに驚く方や、陸海空自衛隊の迷彩服の違いなど、疑問に思ったことをその場の広報官に熱心に質問する姿が多く見受けられた。

また、海上自衛官による手旗信号の展示では、きびきびとした手旗の動作を関心した様子で見守る方や手旗での言葉をリクエストして、動画を撮影する方など思い思いに楽しんでた。

広報ブースを訪れた方からは「友達に連れられてたまたま遊びに来たイベントでしたが、自衛隊車両を身近に見ることができてよかったです。ありがとうございました。」「災害派遣等で活躍している姿をいつも見ているかっこいいと思います」等の言葉をいただいた。

東京地本新小岩募集案内所では今後も地域に密着した募集広報活動を実施するとともに、関係部隊、協力団体等とも連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高めていくとしている。



高校生、保護者等が横須賀基地へ

東京地本台東出張所（所長 紺野稔 1等陸尉）は10月2日（火）、台東区に所在する私立岩倉高校の在校生、保護者及び進路担当教諭18名による海上自衛隊横須賀基地研修を支援した。

当研修は、海上自衛隊に対する理解を促進し、防衛意識の高揚を図ることを目的として学校の発意により実施された。

横須賀基地到着後、初めに横須賀地方総監部募集支援班から海上自衛隊の概況説明を受けた参加者は、海上自衛隊の取り組み、職域及び魅力等について、感心した様子で聞き入っていた。

その後、曳船（タグボート）での横須賀湾の体験航海では、船上から横須賀基地に停泊している船舶等を見学し、記念撮影や一緒に乗船した海上自衛官との懇談を満喫していた。

昼食後、護衛艦「やまざり」の艦艇見学においては、小野艦長の出迎えを受けた後、艦橋内をはじめ、甲板に装備された62口径76ミリ単装速射やアスロックSAM8連装発射機、ヘリコプター格納庫を見学して、それぞれの装備等の概要や平素の業務内容について説明を受け、海上自衛隊の任務の重要性について、一層の理解を深めていた。

参加者からは「堅苦しいイメージがあったが親しみが持てた」「海上自衛隊の人達の話が楽しかった」等の感想が聞かれ、所望の成果を得ることができた。

東京地本台東出張所では今後も部隊等と連携しつつ、対象者、学校関係者等を積極的に部隊研修へ案内して、自衛隊の任務の重要性を広報する事により、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げるとしている。

